

# JAXA 宇宙エネルギーで発電構想 中川昭一 政調会長に聞く

【東京】宇宙航空研究開発機構(JAXA)が宇宙空間で太陽光を集めて、電力や水素を得る計画の実現に向け、大樹町で研究を本格化させる構想を温めている。自民党の中川昭一政調会長がこのほど、十勝毎日新聞社のインタビューに応じ、同構想を含めた宇宙の平和利用研究促進に意欲を示した。  
(深田隆弘)



地球温暖化に對する認識は、地球温暖化は、誰もが非常に関心を持たなければいけない。地球は1年間に0.74度、日本は約1度、東京は3度、北海道・十勝でも1度以上温暖化している。十勝の冬は、昔より大分暖かくなってきた。温暖化は十勝、日本、地球の問題。

## 宇宙の平和利用重要

### 来年度先端研究開発予算の目玉に

地球を温暖化する大気中の二酸化炭素(CO2)の濃度がこのまま200年連続くと、生物の許容量を超え、南極の氷が全

部溶ける、地球上の海面水位が57センチ上がるなどの試算も出ている。日本の国家戦略の1つに日本には、オルシヨックや環境公害問題の経験があり、省エネ環境技術は世界に負けない。

した。来年の北海道洞爺湖サミットは、環境、貧困問題に取り組む、ボスとボスより効率的に集めて、平和と環境、技術、経済と環境の両立が、日本の国家戦略の1つになってきた。JAXAの研究構想に、どのような

て、どのように取り組むか。JAXA(国際協力機構)の研究センターや高速道路、バイオエタノール(美酒)の原料の地元誘致、建設も5年、10年かかって実現している。この構想が、十勝や人類にとって非常に有益なことは誰も否定しない。少し時間がかかるかも知れないが、努力していけば実現できる。宇宙基本法を成立させ、今構想を含めた宇宙の平和利用来年度の先端的研究開発予算の1つの大きな目玉にしたい。

ドバイサミット(主要国首脳会議)では、安倍晋三首相の新提案「美しい星50」や「ターシャップ」が、成功に最大の貢献を

可能性を見いだす。大樹町を中心とした十勝は、二十数年前から、熱心な宇宙基地構想に取り組んでいる。初めは「夢物語」と言われたが、着実に前進している。平和的に幅広く宇宙を活用

ついでに着実にやっていく。研究のベースに十勝大樹町がなるとは地球への貢献という意味からも非常に良い。

大樹町の位置付けを発展へ構想実現に向け

会長